

事業所名: グループホームほほえみの里

作成日: 令和 5年 3月 14日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	記録についての施設内研修を行ったが、記録の量が少なく、日常の様子や本人の感情・表情・発言などの記入が不十分な面がある。具体的な記録が書けるよう研修や支援を行っていく必要がある。	職員ひとりひとりの記録力の向上。 利用者の一日の生活がみえる記録の作成。 記録の大切さ、記録する上でのポイントを理解する。 職員全員が随時記録が行える。	①業務の中で記録を行う時間を設定する。 ②介護記録書式の見直しを行う。 ③記録の書き方についての学びの機会を設ける。 (施設内外の研修、勉強会への参加)	12 ヶ月
2	49	新型コロナウイルス対策の影響もあり、外出に機会がなかなか設けられない。施設周辺の散歩や屋外のドライブは行っているが、本人が行ってみたいところや買物を楽しめる機会を持ちたい。	利用者本人が行ってみたいところへ出掛ける。 利用者本人が外出や買物を楽しむことができる。	①感染状況や感染対策に応じ、感染防止に努めながら外出の機会を作る。 ②食事の食材買い出しと一緒にでかける。 ③本人が欲しいものを選ぶことができる。 ④ご家族への説明を行う。	12 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。